

1万人の開業医像ランキング／09年度介護報酬改定／院長のモチベーションアップ

CLINIC BAMBOO

今日と明日の開業医をサポートする
——最新クリニック総合情報誌

ばんぼう

2 FEB.2009
VOL.334
定価 1,020 YEN

平成21年2月1日発行 通巻334号 毎月1回1日発行
昭和58年2月14日第三種郵便物認可 ISSN 0912-8662

【特集】

“かかりたくない”開業医像 ランキング

患者1万人 大調査



【トピックス】

2009年度
介護報酬改定が決定

【第2特集】 退屈なマンネリの日々から脱却せよ

院長のためのモチベーションアップ術



THE FAMILY DOCTOR

内藤いづみ

ふじ内科クリニック院長



【第3特集】

歯科に学ぶ診療所のチェーン展開のメリット

医師が少ない山間の町で、医療・介護の垣根を超えたチームケアを実践



↑在宅医療に特化したこともあって、外観にはこだわらず元鮮魚店の建物を利用

みつぼしクリニック (金原一弘院長・神奈川県足柄上郡中井町)

神奈川県南西部に位置し、町域の約3分の1が山林に覆われる足柄上郡中井町。人口約1万人の同町に、昨年4月に開院したみつぼしクリニックの金原一弘院長は、

「在宅においては、医療と介護を区別しても何の意味もない」と力強く語る。

金原院長はサービス担当者会議に積極的に参加したり、介護職向けの定例勉強会を開催するなど、シームレスケアの提供に努めている。 撮影＝下山展弘

↓「手が冷たいね」。患者に寄り添い、穏やかな口調で話す金原一弘院長。患者の手を握る姿に見られるように、同院の訪問診療は触れ合いに満ちている



訪診に看護師2人が同行し
質の高い医療を実現

中井町の緑豊かな山間の土地にあるみつぼしクリニック。金原一弘院長が昨年4月に開業するまでは、同町には外来診療を行う医療機関が3診療所しかなかった。

「もともと医療機関が少ないうえに、多くの町民を診ていた先生が、ご病気で廃業される寸前で、医師数が絶対的に不足していました。在宅医療を手がける医師もいなかったため、この場所での開業を決意したのです」と金原院長は振り返る。

開院当初は「地方独特の閉鎖性があり、在宅医療が受け入れてもらえないのではないか」との不安もあった。だが、地域に自宅家族を看取る慣習が残っていたことに加え、診療所名どおり「三ツ星」を目指す金原院長とスタッフの患者満足度を重視したサービスが評判となり、開業から8カ月で患者数は約90人にまで増加した。

この患者満足度を高めるサービス実現の秘訣の一つは、看護師の存在にある。同院には4人の看護師が勤務しており、金原院長の訪

問診療に同行したり、訪問看護サ
ービスを提供している。なかでも、
書類作成など診療所内で行わなけ
ればならない作業が増える月末な
どを除いて、訪診に2人の看護師
が同行するスタイルが大きな特徴
だ。

「医師1人で訪診しても、看護師
が2人同行しても、診療報酬上は
算定できる点数は同じ。人件費を
考慮すれば、医師1人で訪問する
ほうが効率的なのかもしれない。
しかし、医療の質を保ち、よ
り患者さんやご家族に満足してい
ただくためにも、今の体制を維持
していきたいと考えています」

実際の訪問時には、1人の看護
師が金原院長の診察を補助、その
間にもう1人が家族の相談にのる
ほか、薬の確認などを行う。限ら
れた時間を有効に活用した中身の
濃い訪問診療が、患者や家族の満
足につながっているのだろう。

患者や家族を加えた 交流の場づくりを目指す

「いくら医師が1人で頑張つて
も、できることはたかが知れてい
ます。在宅においては、医療と介

DATA

みつぼしクリニック

神奈川県足柄上郡中井町北田 525

TEL: 0465-80-0404

医師: 常勤 1人

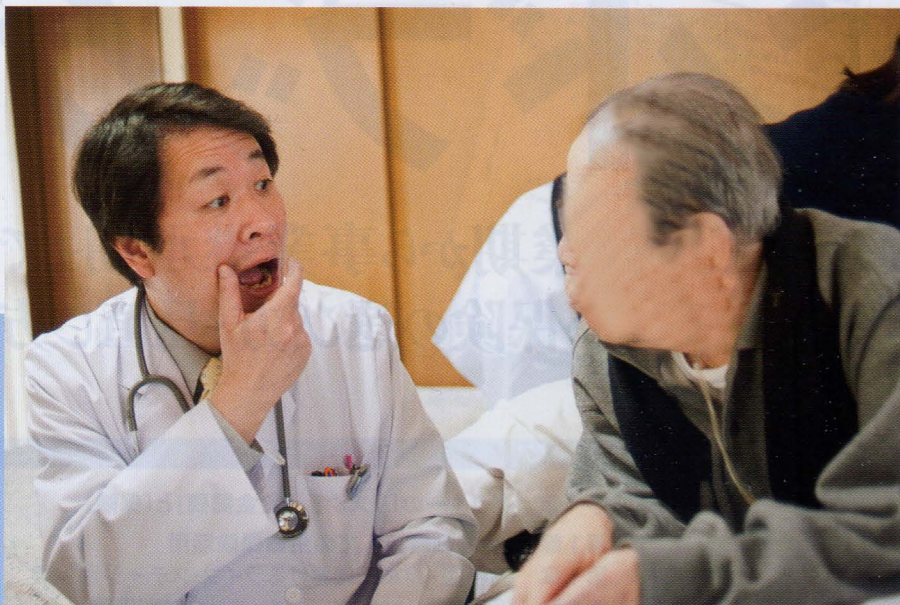
24時間連絡対応: 院長の携帯電話に連絡

在宅患者数: 90人

看取り数: 8人 (2008年5月～12月)

←金原院長は、常に患者と視線を合わせ、身振
り手振りを交えて話をする

↓介護職向けの勉強会。町役場の会場で開催し
たこの日は30人以上が参加した



↓診療終了後には、患者宅の猫と
戯れる場面も



→金原院長が家族と話をしている間に、
看護師2人が患者データの確認を行う
←同院の看護師、訪問看護では患者の体
調を確認し、軽いマッサージなどを実施



護を区別しても何の意味もありま
せん。患者さんにより良いサービ
スを提供するために垣根をなく
し、シームレスケアを提供してい
きたいと考えています」と話す金
原院長は、患者や家族の満足度を
高めるために、地域の介護事業所
との連携にも注力する。

積極的にサービス担当者会議に
出席し、ケアマネジャーやヘルパ
ーなどと患者についての意見交換
を行ったり、月に1回、介護職向
けの勉強会を開催するなど、連携
力のアップに取り組んでいる。勉
強会は好評で、昨年11月には30人
以上が参加した。

今後はこの勉強会の輪を医療・
介護従事者だけでなく、患者や家
族にまで広げたいと言う金原院
長。「患者さんやご家族が加われ
ば、お互いの思いをより深く知る
ことができるのでは、と期待して
います。勉強会というよりも、交
流の場のような地域の会をつく
れたらいいですね」と微笑む。

「まだ一ツ星」と金原院長は謙そ
んするが、手厚い医療と介護サー
ビスが一体化したチームケアを徹
底し、三ツ星を目指していく考え
に変わりはない。